



2025年

ブルー・ブック

ファイザーの社員行動指針



信頼こそがすべて4

ファイザーのバリューを実践し、
皆が責任を担う5

カレッジ（勇気）6

率直に発言し、オープンに受け入れ、
報復をしない7

懸念を報告する8

率直に発言するために9



エクセレンス（卓越）10

患者さんのために11

患者さんと患者支援団体（PAG）
との関わり11

医療従事者や顧客との関わり12

ファイザー製品と製品開発13

研究開発13

製造と供給の品質14

データ・インテグリティ15

安全性に関する報告15

事業活動を行う上で16

ビジネスパートナーとサプライヤー16

利益相反17

会社の資産、記録および情報18

知的財産19

個人情報20

人工知能（AI）21

財務の完全性22

ソーシャルメディア22

外部からの問合せ23

倫理的に行動し、法に従う上で24

インテグリティを守る：賄賂、汚職、
リベートに対する当社の姿勢25

独占禁止法、競争法および競争情報分析26

インサイダー取引規制法28

国際貿易管理法28

エクイティ（公平）と
ジョイ（喜び）29

責任あるビジネス慣行に取り組む30

人権を尊重する31

安全衛生を優先し、環境を保護する32

自分たちの働くコミュニティを
サポートする33

ダイバーシティ、エクイティ&
インクルージョンを尊重する34

差別、ハラスメント、報復を許さない35

ファイザーの社員行動指針（ブルー・ブック）は、当社のすべての事業活動における全社員の基本となる手引きです。ブルー・ブックは、法的効力を有する文書ではなく、情報の提供を目的としたものです。適用されるすべての法令や会社方針を網羅するものではなく、また個々の法令や会社方針を詳細に説明するものでもありません。ファイザーは、いつでも予告なく、またブルー・ブックを改訂することなく、その単独の裁量により雇用に関する会社方針、業務手順、または条件を修正、改訂または変更する権利を留保します。ブルー・ブックの内容は、雇用契約の条件を定めるものではなく、何ら雇用の継続または一定期間の雇用を保証すると解釈されるものではありません。ファイザーでの雇用は自由意思に基づくものです（適用される法令に従うものとします）。ここに記載された情報は、ファイザーによりいつでも一方的に変更または破棄することができ、またこれらは包括的な情報ではありません。コンプライアンス・ウェブサイト（integrity.pfizer.com）で閲覧できる、このオンライン版ブルー・ブックは、すべての旧版のブルー・ブックに優先します。



CEOからのメッセージ

ファイザーにおいて、私たちの目標である「患者さんの生活を大きく変えるブレイクスルーを生み出す」を重視しています。私たちは、すべての患者さんが必要な治療、医療、ワクチンを受けられる、より健康的な世界を創造するために尽力しています。

ブレイクスルーをもたらせるかどうかは、4つのコアバリュー、すなわち**カレッジ（勇気）**、**エクセレンス（卓越）**、**エクイティ（公平）**そして**ジョイ（喜び）**へのコミットメントにかかっています。これらのバリューは、私たちの仕事と企業文化を突き動かすものです。ファイザーの社員行動指針であるブルー・ブックは、これらのバリューを支持するようにデザインされており、品質とインテグリティを重視する企業文化を強化するためのものです。ブルー・ブックには、倫理的行動に関する当社業務の原則と基準が概説されており、とりわけ、「カレッジ（勇気）」というバリューの重要な側面である「オープンな文化」と「率直な発言」の重要性が示されています。患者さんの信頼に足るブレイクスルーを提供するためには、助言を求めること、心理的安全性を育むこと、質問すること、懸念を提起すること、不正行為を報告することが不可欠です。

ファイザーでは、すべての行動は信頼から始まります。なぜなら、信頼こそがすべてだからです。私たち一人一人が、このブルー・ブックの内容を理解し、社員行動指針を遵守して日々の業務に当たる責任を担っています。そうすることで、ファイザーのバリューを実践し、患者さんからの信頼を得ることができるのです。

Albert Bourla

アルバート・ブーラ博士

会長兼最高経営責任者



カレッジ (勇気)

エクセレンス (卓越)

エクイティ (公平) と
ジョイ (喜び)

ファイザーのバリューを実践し、
皆が責任を担う



ファイザーのバリューを実践し、皆が責任を担う

ファイザーでは、私たちは正しく行動します。なぜなら、患者さんの命は私たちにかかっているからです。患者さんは私たちに信頼を寄せています。私たちは、安全性や品質、インテグリティに関する懸念があるときはいつでも率直に発言することで、その信頼に応えています。私たちは率先して倫理的に行動します。すべての活動においてインテグリティを持って行動し、ファイザーのバリューのもと、倫理的で思慮深く、責任ある正しい意思決定を行うことで、私たちの事業活動は、より前進し、より迅速に、より良いものとなります。すべては、私たちが待っている患者さんのためです。倫理的な意思決定は、社内外を問わず、正しく行動することへの信頼と責任感を高めます。



ファイザーの企業目的—患者さんの生活を大きく変えるブレイクスルーを生みだす—を十全に実現するために、私たちは、患者さんのために何を達成すべきか、そしていかにそのゴールへ到達するかについての明確な期待事項を設定しました。「いかに」の要素は、ファイザーとその企業文化を定義する強力な4つのバリュー—カレッジ（勇気）、エクセレンス（卓越）、エクイティ（公平）、そしてジョイ（喜び）—に集約されています。信頼は全員の責任であるため、私たちのインテグリティへのコミットメントは絶対です。責任あるコミュニケーションをとり、日々、品質とインテグリティを重視して業務を行うことで、患者さんへのリーチとインパクトを最大化し、一年で何億もの人の人生を変えるという私たちの大いなる志に近づくことができるのです。

私たちは一人一人が責任を持って社員行動指針を実践し、その責任をお互いにも持ち合う必要があります。ブルー・ブックは、ファイザーおよびその子会社の役員を含む全社員に適用されます。状況によっては、コントラクトリソースも本指針の対象となります。マネジャーは、倫理的行動の模範を示し、誰をも受け入れるインクルーシブでオープンな企業文化を育み、私たち一人一人がカレッジ（勇気）、エクセレンス（卓越）、エクイティ（公平）、そしてジョイ（喜び）というバリューを日々実践しなければならないということを皆に伝えてください。

私たちは一人一人が責任を持って社員行動指針を実践し、その責任をお互いにも持ち合う必要があります。ブルー・ブックは、ファイザーおよびその子会社の役員を含む全社員に適用されます。状況によっては、コントラクトリソースも本指針の対象となります。マネジャーは、倫理的行動の模範を示し、誰をも受け入れるインクルーシブでオープンな企業文化を育み、私たち一人一人がカレッジ（勇気）、エクセレンス（卓越）、エクイティ（公平）、そしてジョイ（喜び）というバリューを日々実践しなければならないということを皆に伝えてください。

尚、この指針に従わないと、会社や同僚、患者さん、顧客、コミュニティ、ビジネスパートナー、投資家に損害が生じる可能性があることを忘れないでください。また、本指針およびポリシーに違反した場合は、解雇を含む懲戒処分を受けることがあります。

本指針は必ずしもすべての状況下における行動指針を網羅してはいませんが、日々の業務を行う上でのバリューと原則の概要を記載した手引きとなります。また、どのようにしてさらなる助言を求め、質問し、懸念を報告するかについての情報も提供しています。



カレッジ（勇気） ブレイクスルーは慣習に立ち向かうことから始まります。不確実性や逆境に直面した場合はなおさらです。これは、広い視野を持ち、率直に話し、決断力を発揮することで実現されます。



エクセレンス（卓越） 私たちが協力して最高のパフォーマンスを発揮しなければ、患者さんの人生を変えることはできません。これは、大事な部分に集中し、誰が何をするかを互いに理解し、結果を数字で把握することで実現されます。



エクイティ（公平） 人は誰でも、目を向けられ、耳を傾けられ、大切にされるべきです。これは、私たちがインクルージョンを常とし、インテグリティを持って行動し、医療の格差を縮小させることで実現します。



ジョイ（喜び） 一人一人が各自の仕事に打ち込めば、そこからまた得られるものがあります。誇りを持ち、互いに認め合い、楽しむときに喜びが見い出されます。

ファイザーのバリューは、日々の業務の指針となります。
そのため、これらのバリューはこのブルー・ブックのすべての章に組み込まれています。

信頼こそがすべて

エクセレンス (卓越)

エクイティ (公平) と
ジョイ (喜び)

率直に発言し、オープンに受け入れ、
報復をしない

懸念を報告する

率直に発言するために



率直に発言し、オープンに受け入れ、報復をしない

率直に
話す

率直に発言するには勇気が必要です。ファイザーの社員として、私たちは全員がファイザーのバリューを大切にし、各種ポリシーに従うことの大切さと責任を分かち合っています。これは例えば、質問や懸念が生じた際に率直に発言するといったことで実践されます。率直に発言することで、起きていることを把握し、問題が生じる前にリスクを管理することができます。ブレイクスルーを生むために私たちに必要な環境は、私たち一人一人が自分の考えを話せるような働きかけがあってこそ作られます。

アイデアがあれば率直に話しましょう。疑問があれば率直に質問しましょう。懸念があれば報告しましょう。オープンドアポリシーでは、皆さんが報復やハラスメント、差別、またその他のいかなる不適切な行為も恐れることなく率直に発言できるよう、多くの方法を提供しています。

ファイザーでは、懸念を報告した社員に対する報復は一切許されません。

助言を求める、懸念を提起する、不正行為を報告する、調査において情報を提供するなどした場合に、そうした行為に対する報復を受けることがあってはなりません。もし自分や同僚が、いかなる理由であれ報復を受けていると思ったら、その行為をこのブルー・ブックに示されているいずれかの方法で報告してください。



カレッジ（勇気）

カレッジ（勇気）へのコミットメント

- 私たちは、いかなる形の報復も、我慢するのではなく報告することを奨励します。
- 私たちは、報復と疑われる行為はすべて報告します。

報復とは不利益な行為を指し、不適当な業務指示や業績評価、脅迫、ハラスメント、降格、停職、報酬の減額、福利厚生拒否、解雇などのさまざまな形で表れます。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー702（オープンドアポリシー）
- コーポレート・ポリシー201（インテグリティ、コンプライアンス報告義務、報復禁止ポリシー）

私たちには、何かが間違っていると感じた時には率直に発言する「カレッジ（勇気）」があります。



懸念を報告する

率直に
話す

もし不正行為かもしれないと思ったら、報告してください。私たちは、すべての報告を有意義なものとし、尊重し、調査します。法令や規制、ポリシー、手順に従わない、ファイザーのバリューを実践しないなども不正行為にあたる可能性があります。懸念の報告先は、直属のマネジャーや他のマネジャー、People Experience、法務部門、労政グループ、またはコンプライアンス組織（コンプライアンス部門）です。また、コンプライアンス・ヘルプライン宛に匿名で報告することもできます（現地の規制によります）。

報告された懸念事項は、当社のポリシーおよび手順に従い、しかるべきファイザーグループにて分析・対処されます。例えば、法令や会社ポリシーの重大な違反のおそれ、違反の疑い、または実際の違反（要報告コンプライアンス問題（RCI））については、コンプライアンス部門が専任で調査を行います。

カレッジ（勇気）

カレッジ（勇気）へのコミットメント

- 安全性、品質、またはインテグリティに関して疑わしいことがある場合には懸念を報告します。
- コンプライアンス部門は、すべての疑念および報告された懸念に迅速に対応し、RCIを調査するために適切な措置を講じます。また、RCI以外のものについては適切な部署に照会して対処してもらいます。
- 秘密は可能な限り最大限保たれます。

個人の開示義務



米国連邦政府の医療制度または調達・非調達プログラムへの加入から除外、排除、資格停止、または不適格となったことがある社員は、直ちにコンプライアンス部門へそのことを開示しなければなりません。また、何らかの犯罪行為の捜査対象になっており、除外、排除、資格停止の可能性がある場合にも、その旨を開示しなければなりません。



私たちは、ファイザーのバリューを実践しています。

安全性や品質、インテグリティに関する懸念を報告した場合はどうなりますか？

ファイザーは、そのような懸念が、関連する専門家やエキスパートによって適時に評価され、理解され、軽減されるよう徹底します。これは患者さんを守り、ステークホルダーの信頼を保ち、会社の評判を守るために欠かせないことです。

さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー702（オープンドアポリシー）
- コーポレート・ポリシー201（インテグリティ、コンプライアンス報告義務、報復禁止ポリシー）



率直に話す
(スピークアップ)

率直に発言するために

質問やアイデア、懸念事項があれば、報復を恐れずに知らせてください。さまざまな人がサポートしてくれます。もっとも安心できる人やグループに相談しましょう。



マネジメントチーム

- 直属のマネジャーや部署内の誰か
- その他のマネジャー
- 会社のリーダーシップ

People Experience

- 何らかの懸念がある場合は、People Experience (PX) に連絡してください。
- 現地のPeople Experienceの担当者

労政グループ

質問や懸念事項がある場合は、直接労政グループに連絡してください。労政グループは、オープンドアポリシー推進のためにファイザーのバリューとポリシーを支持する、中立的・客観的な立場の調査役です。

- 米国およびプエルトリコ
- グローバル：労政グループ地域リーダーに連絡してください

コンプライアンス

質問やアイデアの提案、懸念の報告をする場合は、直接コンプライアンスチームに連絡してください。コンプライアンスのウェブサイトで、詳しいポリシーや手順、資料を掲載しています。

- コンプライアンス担当者
- 電子メール
corporate.compliance@pfizer.com
- コンプライアンスのウェブサイト：
<http://integrity.pfizer.com>
- +1-212-733-3026
- +1-917-464-7736 (セキュアFAX)
- Pfizer Inc
c/o Pfizer Compliance Organization
66 Hudson Boulevard East
New York, NY 10001-2192

ヘルプライン

コンプライアンス・ヘルプラインは、1日24時間・年中無休で懸念の報告や助言の依頼に対応しています。多くの地域で、匿名での報告も受け付けています（現地の法令によります）。

- 報告を行うには、pfizer.ethicspoint.comを参照してください
- 各国の電話番号は、helpline.pfizer.comを参照してください
- 各国の詳細情報は、raisingcomplianceconcerns.pfizer.comを参照してください
- アメリカ国内：1-866-866-PFIZ (7349)

法務部門

懸念がある場合は法務部門に連絡してください。

- 現地の法務部門の担当者
- 法務部門のリーダーシップ

オンブズ・オフィス

ファイザーのオンブズ・オフィスは、社員が業務に関連する問題に対処し、解決するための情報やガイダンスを匿名で入手できる安全な非公表の場を提供しています。オンブズ・オフィスでの会話は「オフレコ」とされ、物理的な危害のリスクが発生しない限り誰にも開示されません。またオンブズ・オフィスは、複数の社員が同じ問題について相談に来た場合、その裁量により、リーダーシップにそうした傾向を報告することができます。そうすることで、社員を特定することなく、その懸念を上申することができます。

- 米国、カナダ、プエルトリコからは、1-855-733-6623に電話をかけてください（通話料無料）。その他の地域については、お問い合わせから連絡してください。
- 電子メールの場合は、ombuds@pfizer.comに連絡してください。
- 詳しくは、当社のウェブサイト
(ombuds@pfizer.com) をご覧ください。



信頼こそがすべて

カレッジ（勇気）

エクイティ（公平）と
ジョイ（喜び）

患者さんのために

ファイザー製品と製品開発

事業活動を行う上で

倫理的に行動し、法に従う上で



患者さんのために

率直に
話す

患者さんと患者支援団体（PAG）との関わり

患者さんと患者支援団体（PAG、患者団体とも言う）は、当社の目的を推進する上で重要な役割を果たしています。その独自の洞察力和協力的な関わりは、ファイザーの研究や臨床プロジェクト、疾患啓発プログラムを形にし、患者さんの課題に対処するためのアプローチを革新し、政策への関与を通じて治療へのアクセスを支援する取り組みを推進するのに役立っています。

患者さんやPAGとのやり取りはすべて、適用されるすべての法規制と業界規範に従ったものでなければなりません。患者さんや支援団体と信頼関係を築き、維持することも不可欠です。そのため、私たちの関わりは、独立性、透明性、相互尊重の原則を指針とし、患者さんやPAGの利益と使命を配慮したものでなければなりません。

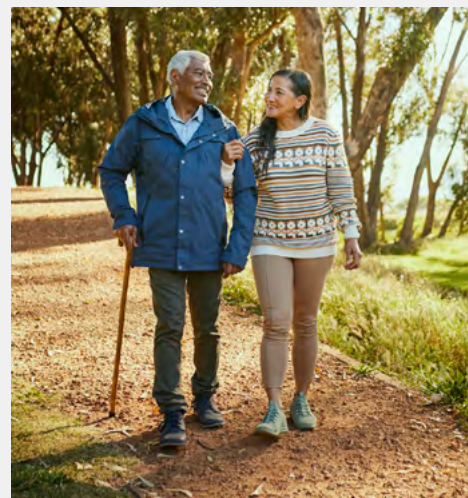
患者支援団体は一般的に、医学的疾患を持つ人々、その家族、またはその他の介護者のニーズを代表する独立した非営利事業体と定義されます。

患者さんやPAGとの関わりにおいて配慮すべきこと

- 関与の目的は、正当なニーズに対処するものでなければなりません。
- グローバルポリシーと現地のポリシーを参照し、すべての関連ポリシー、法規制、業界規範を遵守しているよう徹底します。
- 患者さんとPAGの独立性と自主性を全面的に尊重します。独立性を損なうように見える可能性のある行為は避けてください。
- PAGとつながりを持つ前に、関連する患者エンゲージメントリードに相談してください。

独立慈善患者支援プログラム（ICPAP）：すべての患者さんには、質の高い医療を受け、医師の処方による医薬品を入手する権利があります。独立慈善患者支援プログラム（ICPAP）への慈善寄附は、自己負担金や処方に必要な年間自己負担額、医療保険料を補助することで、患者さんが医薬品を入手できるようにするための手段を提供するものです。ただし、こうした寄附をする場合は、一定の法的要件および規制要件を満たさなくてはなりません。

このようなコンプライアンスを徹底するため、ファイザーのポリシーでは、社員のICPAPとの関わり、ICPAPへの寄附および配分、ICPAP関連のデータアクセスにおいて厳しい制限を設けています。また、ファイザーのグローバルヘルス&ソーシャルインパクトグループが、ICPAPへの寄附の管理について全責任を負っています。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー208：（患者さんと患者支援団体（PAG）との関わり）
- 患者さんやPAGとの関わりに関する現地の要件については、MAPPカントリーアネックスポータルを参照してください。



患者さんのために

医療従事者や顧客との関わり

私たちは、研究開発や市場へのアクセス、教育的活動、プロモーション活動などの様々な方法を通じて、医療従事者やその他の顧客と関わっています。最高水準の品質を維持し、医療従事者との関係のあらゆる面において、私たちはインテグリティと透明性を持って行動します。

エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 顧客との関わりがどう見えるかを考え、虚偽のプロモーションや誇大広告、賄賂や汚職、競合製品への不当なコメントなどの違法行為や不正行為を行いません。
- ラベル表示、販促活動、試供品、ステークホルダーとのコミュニケーションを含むすべてのマーケティング活動において、インテグリティを持った行動に努めます。
- 自社製品の適切な使用法と有効性や安全性に関するデータを利用者に提供することで、患者さん、消費者、医療従事者および各国の規制当局に適時かつ正確な製品情報を提供します。

- 私たちは、医療従事者とその組織との関わりが、実際の利益相反やそのように見える状況を生み出す可能性があることを認識しています。したがって私たちは、研究・調査、教育活動、臨床診療業務における医療従事者との間の金銭のやり取りやその他の利益、および関係性を開示することを支持しています。
- ファイザーは患者さん中心主義に深くコミットしており、私たちの目的を推進する中で、患者さんやPAGのニーズを理解し適切にサポートするために、患者さんやPAGと関わることの重要性を認識しています。お互いの利益に焦点を当てた患者さんやPAGとの関わりは、研究開発への患者さんの関与度の向上、臨床試験の多様化、患者さんが利用しやすい教材やプログラムの開発、患者さんの転帰を改善する優先度の高い政策や社会的影響の問題への注目度の向上などに寄与する可能性があります。

私たちは、倫理的なマーケティングに関して営業担当者に定期的なトレーニングと周知活動を行っています。また、私たちの販促資料はすべて、適用される規制当局の基準および科学的基準に適合しているよう徹底するために、適切な審査と承認を受けています。



「医療従事者」の定義には、医師、看護師、薬剤師の他、投薬・処方・購入・推薦を業務とする人物や、ファイザー製品の使用に影響を与える立場にある人物が含まれます。

さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー201（インテグリティ、コンプライアンス報告義務、報復禁止ポリシー）
- コーポレート・ポリシー208：（患者さんと患者支援団体（PAG）との関わり）
- 汚職防止ポリシーおよび手順（MAPP）
- コーポレート・ポリシー207（医療従事者との関わりに関するグローバル・ポリシー）
- グローバル・コンテンツ・ポリシー：プロモーション資材に関する基準
- GCOポリシー・エクスチェンジ
- グローバルHCP/HCO透明性報告SOP

ファイザー製品と製品開発

研究開発

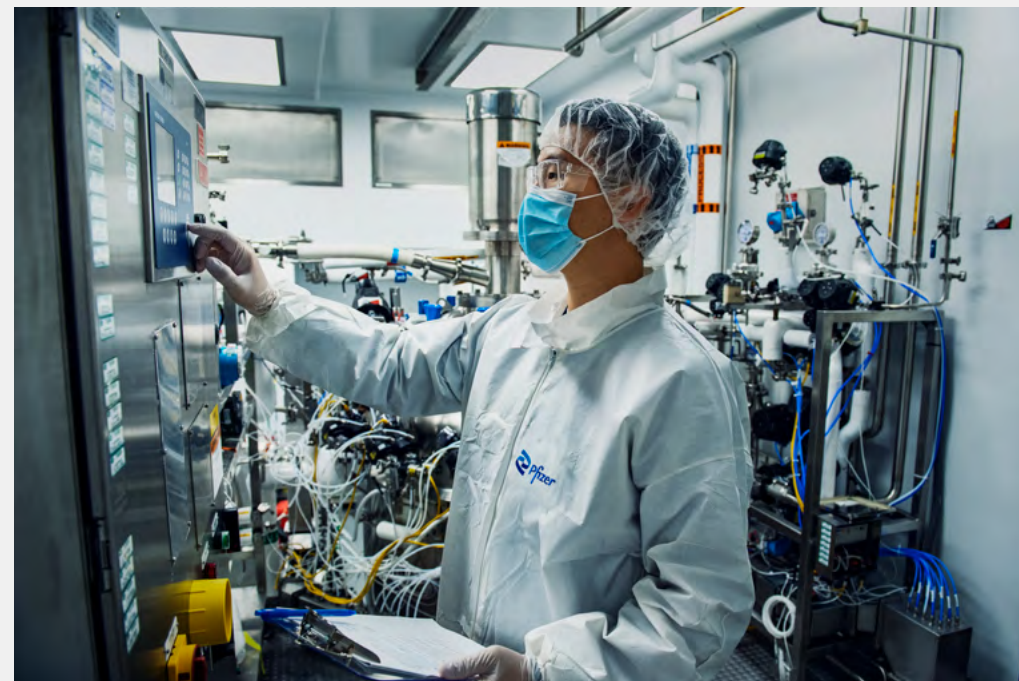
私たちの目的は、患者さんの生活を大幅に改善する革新的な医薬品とワクチンを提供することです。私たちは、臨床試験の参加者を保護するよう努めると同時に、すべての研究開発活動において倫理的、科学的、医学的に最高の水準を維持するべく取り組んでいます。

研究開発活動において、卓越性とインテグリティに対するファイザーの高い期待に沿う行動をとる責任は私たち全員にあります。

エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 研究開発活動において、すべての適用される法規制、および非臨床試験の実施に関する基準（GLP）や医薬品の臨床試験の実施の基準（GCP）に関連する倫理ガイドラインを遵守します。
- 最高品質のデータに基づいた医薬品の申請を行うため、支援する研究の臨床データの整合性と品質の維持に努めます。
- 臨床試験への参加者の権利、安全、ウェルビーイングを保護します。
- 動物実験に代わる手法を可能な限り模索し、新薬の安全性・有効性評価において動物実験を行わない治験メソッドの開発と導入をサポートします。動物実験が必要な場合は、動物のケアと幸福において、法律や外部の監督当局が定めている以上の高い水準を設けます。



私たちは勇気と責任を持って革新を起こします。

率直に
話す

ファイザー製品と製品開発

率直に
話す

製造と供給の品質

患者さんは、健康を改善し生活の質を高めるために、ファイザー製品を必要としています。これは、ファイザー製品の品質や安全性、有効性が高くなければ実現しません。

私たちは、ファイザーの堅牢な品質管理体制やデータ・インテグリティのもと、品質、安全性、有効性において高い基準を満たす製品の製造・供給を徹底するよう取り組んでいます。



エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 製造は、適用される法規制の要件、医薬品の製造管理および品質管理の基準（GMP）、および社内の厳格な品質基準を遵守して行われます。
- ファイザー製品の品質、安全性、有効性を確保するため、サプライヤーやパートナーの業務運営についても適用される規制要件やGMP基準の遵守を求めると同時に、サプライチェーンの監査・監督を行います。



**品質とインテグリティは、常に
私たちのビジネスの中核にあ
ります。**

さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー114（コーポレート品質ポリシー）

ファイザー製品と製品開発

データ・インテグリティ

科学に基づく意思決定を行う企業として、データ・インテグリティは極めて重要です。データが正確かつ完全で、信頼できるものであれば、ファイザー製品とその製造プロセスにおいて最高水準の品質が確保されており、安全かつ有効で、患者さんや社員、コミュニティを守るものであるということを規制当局や患者さん、顧客に保証できます。

私たちは、データの帰属性、判読性、同時性、原本性、正確性という5大原則（ALCOA原則）をもって、データ・インテグリティを維持しています。ALCOA原則を遵守する形で記録されたデータとは、誰が記録したのかわかる（帰属性）、判読して使用できる（判読性）、

作成時に直ちに記録されている（同時性）、オリジナルの記録であり無許可のコピーではない（原本性）、正確である（正確性）ことを満たすものです。



**データが信頼できなければ、
製品も信頼できません！**

安全性に関する報告

ファイザーは、安全で有効性の高い、最高品質の製品の提供に尽力しています。そのため、ファイザーの全社員は、製品の安全性、品質、機能性において問題があった場合、それを把握した経路に関わらず、問題を報告する義務を負っています。

ファイザー製品に関する有害事象やその他の問題を認識した場合は、その情報を入手してから24時間以内に必ず報告を行ってください。

とある夕食の席で、ファイザーの社員は、友人がファイザー製品を使用した際に頭痛を起こしていたことを知りました。この社員はこれを報告する必要がありますか？

はい。情報を入手した経緯やその重要度合い、それが本当にファイザー製品の副作用かどうかを問わず、この社員は情報を入手してから24時間以内に報告する責任があります。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー903（ファイザー製品の安全性、品質、機能性に関する情報の報告責任）
- 報告責任（YRR）ウェブサイト
- 報告の方法

事業活動を行う上で

ビジネスパートナーとサプライヤー

私たちは、ファイザーがその戦略的目標を達成するのを支援してくれる世界各国のサードパーティ（サプライヤー、販売業者、その他のビジネスパートナー）と協力して事業を行っています。しかしながら、サードパーティとの協働は、コンプライアンスや安全性、財務、情報セキュリティなどにおけるリスクを生じさせる場合があります。それらのリスクは、業務の混乱や規制上の罰則、評判の失墜などを招く恐れがあります。デューデリジェンスを実施し、サードパーティを責任を持って選択、管理することは、私たちがビジネスを行う上での基盤となります。ファイザーは、ビジネスパートナーに対して高い水準を常に求め、ファイザーに代わって行う活動に適用されるすべての法令と関連するポリシーや手順をパートナーが遵守するよう徹底しなければなりません。



エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- サードパーティとの連携に紐付くリスクを注意深く管理します。これには、直面するかもしれないリスクを特定して評価し、軽減するための措置を取ることやポリシーを定めることなどが含まれます。
- 倫理的かつ責任を持って業務を遂行し、自社の社員の権利を尊重し、環境保護に努める外部サプライヤーと提携します。
- ファイザーのサプライヤー行動原則および責任あるサプライチェーン・マネジメントのためのPSCI（製薬業界サプライチェーン・イニシアティブ）原則を遵守して業務を遂行するようサプライヤーに求めます。

**私たちは常に正しく行動します。
なぜなら、患者さんの命は私たちにかかっているからです。**



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー113（環境保護と安全衛生ポリシー）
- コーポレート・ポリシー122（サードパーティリスク管理ポリシーと手順）
- ファイザーサプライヤー行動意見報告書
- ファイザーサプライヤー行動原則
- 汚職防止ポリシーおよび手順（MAPP）
- サードパーティリスクマネジメント（TPRM）リソースセンター

事業活動を行う上で

利益相反

私たちは、自身の個人的利益とファイザーの利益との間での利益相反の可能性やそのように見える状況を回避する責任があります。利益相反は、私たちが個人的、社会的、金銭的、または政治的に、会社の利益と相反する利益を持つときに生じます。

潜在的な利益相反の多くは解決可能なものです。第一に、私たちはいかなる利益相反の可能性も、マネジャーに開示しなければなりません。マネジャーはそれを受け、その利益相反の可能性が重大かつ複雑な場合には、法務部門、コンプライアンス部門、またはPeople Experienceへ相談するなどの対策を検討しなければなりません。

利益相反の開示や解決においては、Fuseの利益相反システムを使用するか、直属のマネジャーやコンプライアンス部門に連絡して、適切な措置を決めてください。

エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- ファイザー社員としての客観性、意欲、業績に影響を及ぼす、社外でのビジネスやその他の利益享受は許可されていません。私たちは、利益相反を特定し、開示し、対処するために、注意を払い、透明性を保ち、説明責任を果たさなければなりません。



利益相反となる可能性がある 事例は以下です。



- 社外でのジョブや役職、特に競合他社、またはファイザーの顧客やサプライヤーとなる可能性のある企業でのジョブや役職の就任
- ファイザー社員に提示された個人的な投資またはビジネス機会で、ファイザーやファイザーの事業におけるその社員の職務に直接関係するもの（ファイザーの競合他社における多額の金銭的利害を含む）
- ファイザーやヘルスケアに関連する役割を担う政府機関関係者（GO）と近親関係にある
- ファイザーの提携業者やサプライヤー、またはファイザーとの業務契約締結を求めている者からの贈答品の受領
- 現地の非営利団体を含む、ヘルスケア業界の会社での取締役への就任
- ファイザーの事業機会を個人の利益のために利用



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー203（利益相反（COI）ポリシー）
- 汚職防止ポリシーおよび手順（MAPP）
- コーポレート・ポリシー301（社員の出張、接待およびビジネス関連費用）
- コーポレート・ポリシー102（購買ポリシーおよび手順）

事業活動を行う上で

会社の資産、記録および情報

私たちがファイザー、社員同士、そして私たちの患者さんを守る方法の1つは、会社の資産を保護することです。会社の資産には、物理的財産や知的財産、設備、サービス、記録、アイデア、ファイザーの機密情報などがあります。私たちには、ファイザーのシステムとネットワークを適切に運用し、ファイザーのビジネスに関する情報を安全に生成・転送・保管する責任があります。具体的には、会社のネットワークでは承認されたテクノロジーやデバイス、アプリケーションにしか接続しないことなどが挙げられます。

エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- リモート勤務や、壁などで囲われていないオープンスペースで業務を行う際は、それが話された内容か書かれた内容かを問わず、すべての機密情報を保護し、適切に破棄します。
- ファイザーが承認したソフトウェア、デバイス、アプリケーションのみを使用します。
- ファイザーの情報システムの個人的な利用は制限されています。
- 機密情報の保護、記録の保管、情報インシデントの報告、サイバーセキュリティに関するファイザーのコーポレート・ポリシーを遵守します。



ファイザーは、会社や社員、顧客に重大な悪影響を及ぼす不正使用やデータ侵害、その他のセキュリティ上の脅威から自社の情報と業務を保護しなければなりません。適用される法令に従い、ファイザーはさまざまなツールとプロセスを使用してファイザーの情報システムおよびデータの使用をモニタリング・評価し、その保護に役立てています。

禁止行為：次の行為にファイザーの情報システムやデバイスを使用することはできません。

- ハラスメントや差別、職場に敵対的な雰囲気を生む行為
- 誹謗中傷、違法、ポルノ、またはわいせつな情報の閲覧や投稿
- 業務を妨害したり、業務やシステムに損失や損害をもたらす行為
- 許可されていない目的での社員の勧誘
- 無許可でのコミュニケーションの記録

ファイザーの施設内であっても、ファイザーのデバイスとデータを保護するための適切な予防措置を実施しましょう。壁などで囲われていないオープンスペースで業務を行う場合は、デバイスを離れる際にシステムロックをかけてください。セキュリティが十分に確保されていない場所では、デバイスから目を離してはなりません。公共スペースでは、機密情報が他者の目に触れたり耳に入ったりすることのないように徹底してください。

さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー401（機密情報の保護）
- コーポレート・ポリシー403（情報システムの適切な使用）
- コーポレート・ポリシー405（記録と情報管理ポリシーおよび手順）
- コーポレート・ポリシー411（情報インシデント対応ポリシー）
- コーポレート・ポリシー412（サイバーセキュリティポリシー）
- 企業記録と情報管理
- 企業記録の保管スケジュール
- 機密情報の取り扱いに関するガイドライン
- ファイザーを守る
- リーガル・ホールド・リスティング

事業活動を行う上で

知的財産

ファイザーの知的財産を保護することは、会社の競争優位性を維持する上で必要不可欠です。私たちは、ファイザーの知的財産権を確立、保護、維持、防衛し、責任を持ってこれらの権利を行使します。また、私たちは他者の知的財産権も尊重しています。



エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 私たちは、責任を持ってファイザーの知的財産権を行使します。

もしある国で知的財産が保護されていれば、他の国でも保護されるのでしょうか？

いいえ、必ずしも保護されるわけではありません。例えば、特許と商標は国・地域ごとの権利です。法務部門の知的財産グループが企業資産の状況をトラッキングし、ある国でそれらが保護された状態にあるかどうかの判断をサポートします。

知的財産には、特許、商標、トレードドレス、企業秘密、著作権、科学のおよび技術的知見、ノウハウ、経験などが含まれます。

さらなる詳細情報

- 著作権コンプライアンス・ガイドライン
- 知的財産ポータル

率直に
話す

事業活動を行う上で

率直に
話す

個人情報

私たちは、社員、サードパーティ、HCP、患者さんなどの個人情報を保護します。ファイザーは、研究・調査活動、医薬品安全性調査、その他の事業活動を行うことを目的とした個人情報を保有しています。

私たちは個人情報を保護し、それらのデータをファイザーのポリシーや手順、適用される法規制に則った形でのみ使用することに責任を負っています。

エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 私たちは、事業目標を達成するために必要最低限の個人情報のみを収集・使用し、目標達成に必要な期間のみ保管します。
- 個人情報は、正当な必要性のある人にのみ開示し、その情報は保護されます。
- 個人情報の不適切な開示に関する懸念は、マネジャーとファイザー・レジリエンス・センター（PRC）に報告します。

業務の必要性に迫られて、個人情報 をサードパーティに開示しなければなら ない場合は、どうすればよいですか？

サードパーティが個人情報を確実に保護し、ファイザーにサービスを提供するという目的でのみ使用することを必ず確認しなければなりません。また、個人情報の保護に関する適切な契約が締結されているかどうかも確認します。一部の法域では、その他の要件が適用される場合があります。サードパーティに個人情報を提供する前に、法務部門に問い合わせてください。



個人情報とは、氏名、連絡先、健康に関する情報や遺伝情報などをはじめとする、個人を直接的または間接的に特定できる情報を指します。

さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー404（個人情報のプライバシーの保護）
- コーポレート・ポリシー411（情報インシデント対応ポリシー）
- グローバルプライバシーオフィス
- ファイザー・レジリエンス・センター（PRC）



事業活動を行う上で

率直に
話す

人工知能（AI）

私たちは、ファイザーが掲げるPurpose Blueprintを効率的かつ効果的に実行し、健康を促進するために、データ分析とインサイトを活用できるようにするうえで、AI関連の機能がますます重要になっていることを認識しています。AIを業務で活用する際には、ファイザーのバリューと、責任あるAI指針に沿った方法で、責任を持って倫理的に使用します。

エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 私たちは人間による監視が重要だと確信しており、安全で持続可能かつ、信頼性が高く、セキュリティが確保されており、人間に力を与えて公正さと公平さを高めるAIの開発と導入に努めています。
- AIの開発、調達、導入にあたっては、リスクを評価し、軽減するための適切な措置を講じます。
- AIを利用する際には、機密データを保護し、患者さんやその他の個人のプライバシーと透明性のニーズを尊重します。

人工知能（Artificial Intelligence、AI）とは、受け取った情報に基づいて、どのようにアウトプット（予測、推奨、決定、新しいコンテンツ、要約など）を生成するかの結論を導くことができる、機械ベースのプロセスやテクノロジーを指します。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー413（人工知能リスクマネジメント）



事業活動を行う上で

財務の完全性

正確な業務記録は、ファイザーが事業活動を行う上で、また投資家の信頼を守る上で必要不可欠です。私たちは厳格な内部統制と会計ポリシーを維持することで、会社の会計帳簿と公的な財務諸表の正確性、完全性、信頼性を確保しています。

私たち一人一人が、健全な財務的判断を下し、業務記録に正確かつ正しく業務内容を反映するよう努めなくてはなりません。例えば、出勤記録や請求書、経費報告書、福利厚生に関する記録などです。ファイザーに対して、あるいはファイザーに代わって行われた、疑わしい、または不正確な取引、請求書、支払いがないよう、全員が注意しなければなりません。そうすることで、ファイザーは完全で正確かつ適時の財務情報やその他の開示情報を、一般消費者や各国の政府機関に提供することができるようになります。



**自分たちの行動に責任を持って
はじめて、私たちはエクセレンス
を達成できます。**

ソーシャルメディア

ソーシャルメディアは、ファイザーのイノベーション、患者さん中心主義、社員のコミットメントにまつわるストーリーを伝えるためのもっともパワフルなツールのひとつです。私たちは皆、コンテンツの作成や利用がファイザーの代表としてかプライベートかを問わず、ソーシャルメディアを責任を持って利用する責任を負っています。

エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 重要な非公開情報やその他の機密情報、専有情報、個人情報を、ソーシャルメディアで開示しません。
- ファイザー製品や特定の新製品・既存製品の内容について、その利用や言及について法務部門から承認を得るまでは、ソーシャルメディアで話題にしません。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー511（ファイザーの帳簿と記録の完全性）
- コーポレート・ポリシー407（ソーシャルメディア・ポリシー）

事業活動を行う上で

率直に
話す

外部からの問合せ

政府機関

私たちは、適切な情報開示要請があった場合、政府機関に全面的に協力します。政府機関からの非定例の要請については、ファイザーまたは社員が民事・刑事責任を問われる可能性があります。そのため、もしファイザーの施設やオフィス、その他の場所で、何らかの政府機関からのそのような情報開示の要請を受けた場合は、直ちに法務部門に通知してください。

メディア、アナリスト、投資家、一般消費者

私たちは、メディアや財務アナリスト、投資家、一般消費者に正確で信頼性の高い情報を提供するよう努めています。したがって、メディアからの問い合わせにはグローバル・メディア・リレーションズのみが、財務アナリストと投資家からの問い合わせにはインベスター・リレーションズのみが回答する権限を持っています。



自分たちの基準を知り、それに
沿って行動したとき、エクセレン
スを達成できます。

さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー602（政府機関からの情報開示と会社施設訪問の要請）
- コーポレート・ポリシー604B（重要な非公開情報の取り扱いと開示 - 公正開示規制）
- メディアからの問い合わせ：グローバル・メディア・リレーションズ・プレス・オフィス+1-212-733-1226
- アナリストと投資家からの問い合わせ：インベスター・リレーションズ +1-212-733-2668



倫理的に行動し、法に従う上で

率直に
話す

私たちの業界には多くの法令や規制が適用されています。これは、患者さんと消費者を守り、医薬品や医療サービスの質と安全性を確保し、不正行為や医学的判断に対する不適切な影響力を排除するためです。私たちは、製品の開発、製造、流通、マーケティング、政府との契約、販売、プロモーションといった、私たちの事業活動を統制するすべての法規制を遵守することで、エクセレンスへのコミットメントに取り組んでいます。

ファイザーでは、研修やコミュニケーションを通じて、会社のポリシーを遵守することの重要性を社員に強調することで、倫理に反した行動を防いでいます。私たちは、ポリシー違反の可能性を示すシグナルをモニタリングし、違反には適切な懲戒処分を科します。

エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 各取引を評価し、それが正当な目的に適用されるよう徹底します。
- すべての取引が適切な価格を反映しており、現地の法令を遵守していることを徹底して検証します。
- ビジネスにおける意思決定を左右する影響力を実際に持っているか、持っていると思われる政府職員や一般消費者と関わる際には、最大限の注意を払います。
- 事業活動に対する完全なオーナーシップと責任を持ち、そのプロセスやリスク、不適切と思われる可能性を十分に認識します。そして、常に説明責任を果たし、インテグリティを持って行動します。
- すべての取引を十分詳細かつ正確に文書化します。



倫理的に行動し、法に従う上で

インテグリティを守る：賄賂、汚職、リベートに対する当社の姿勢

私たちは、揺るぎない透明性と最高の倫理基準を持って事業を行うよう努めています。また、あらゆる形態の賄賂と汚職を断固として拒否し、社員とビジネスパートナーの双方に、これらの原則を守る責任を課しています。

業務を遂行する中で、社員とビジネスパートナーが、政府機関関係者や医療従事者、営利事業体や個人を含むその他の人物に不適切な影響を与えることを意図した支払いや便宜を供与、約束、許可および提供することは決して許されません。

政府や規制当局に紐づく医療従事者との関わりにおいては、関連するすべての法規制、ビジネス基準、業界の行動規範の遵守を優先します。私たちは、倫理的で責任あるビジネス慣行を徹底するため、透明性とリベート防止に関する現地の規制を遵守するよう努めています。



ビジネスパートナーのことを十分に理解することが不可欠なのはなぜですか？

パートナーを知るということは具体的には、医療従事者と政府機関関係者の立場を理解すること、また場合によっては、職業資格や雇用身分を把握したり、ファイザーのビジネスに有利となる政府の意思決定に影響を及ぼす力について理解したりすることなどが挙げられます。私たちのビジネスパートナーが、専門性とインテグリティに関するファイザーの高い水準を満たしていることを確認しなければなりません。また、ビジネスパートナーに関連するあらゆる実際のリスク、またはリスクがあるように見える状況を特定することも必須です。これらの情報を収集することで、私たちは自分たちの関わりが適切なものであるかを評価し、あらゆるリスクを特定、管理できるようになります。十分な情報を得ることはより良い意思決定をするために役立ち、ひいては私たちが支える患者さんの利益となります。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー207（医療従事者との関わりに関するグローバル・ポリシー（GPIHP））
- 汚職防止ポリシーおよび手順（MAPP）
- ACPOウェブサイト

率直に
話す

倫理的に行動し、法に従う上で

独占禁止法、競争法および競合情報分析

独占禁止法と競争法は、例えば価格や販売条件、公正な競争に影響するようなファイザーと競合他社との取り決めを禁止し、自由な事業活動を守る法律です。私たちは、販売合意、顧客への払い戻しと割引、特許、著作権、商標ライセンス、再販業者の地域制限、全般的な価格設定方針のほか、それだけに留まらないすべての商取引において、公正な競争を行います。

私たちは、公正な競争を行い、事業活動を行うすべての国の独占禁止法および競争法を遵守します。法令は多岐にわたり複雑であることが多いため、競合他社と関わったり不当に取引を制限する恐れのある商取引に携わる前に、法務部門に相談します。

また、私たちは、他社のビジネス情報を、倫理的かつ適法で、守秘義務を満たす方法でのみ収集、使用します。



エクセレンス（卓越）

エクセレンス（卓越）へのコミットメント

- 価格設定、コスト、販売条件、その他競争に関わる機密情報について、競合他社と直接的または間接的に話し合ったり連絡を取ったりすることは許されていません。
- 競合他社への不当な取引制限や市場からの競合他社の排除について、サプライヤーや顧客と直接的または間接的に話し合ったり連絡を取ったりすることは許されていません。

**ファイザーの元社員である友人？
は、現在ファイザーの競合他社で働いています。彼女の会社がマネージド
ケアの会社とどのような取引を行っているかについて話し合ってもかまいませんか？**

いいえ。ビジネスかソーシャルな場かを問わず、競合他社で働く友人や元社員と、競合他社の機密情報について話し合うことはできません。

- 私たちは、市場や顧客を競合他社に配分しません。私たちは、顧客やサプライヤーの不買・排斥運動に関与しません。
- 虚偽の表示、詐欺、窃盗、スパイ行為、賄賂などの違法あるいは非倫理的な方法で競合他社の情報を収集したり、そのようなことをサードパーティに依頼したりすることは決してありません。
- 競合他社と入札について議論したり、入札を不正に操作したり、あるいは顧客との入札プロセスを操作したりすることはしません。
- 独占禁止法や競争法に違反しているように見える可能性のあるビジネス慣行（例えば、価格を設定するために競合他社の機密情報を収集するAIアルゴリズムツールの使用）のために、AIや生成AIを使用することはありません。

率直に
話す



倫理的に行動し、法に従う上で

率直に
話す

独占禁止法、競争法および競合情報分析

事業者団体の会議や業界の会合



には、ある程度のリスクが伴います。競合各社が集まり、共通の関心事について話し合うかもしれないからです。そうした場でのマーケティングや価格戦略などの話題は不適切であり、冗談でさえ誤解を招く恐れがあります。独占禁止法や競争法に反するような話題になったときには、その件について話し合うことを断り、直ちに会話の場から離れ、その出来事を報告しなければなりません。

臨床試験の被験者募集において、**競合他社がどのような除外基準を使用しているのか知りたいのですが、その情報は公開されていません。参加希望者を装って電話をして、質問をしてもよいでしょうか？**



いいえ。自身がファイザーの社員であると開示しないことやそうでないように振るまうことは、競合他社の機密情報を得るための倫理的な手段ではありません。ファイザーの全従業員およびコントラクトリソースは、一次情報を直接収集することを禁じられており、コーポレート・ポリシー121に従って、ベンダー主導の一次競合調査プロジェクトの開始および実行をコンペティティブ・インテリジェンスCoEおよび法務部門と調整する必要があります。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー603（独占禁止法の遵守）
- コーポレート・ポリシー121（競合
- 情報分析に関するポリシーおよび手順）



倫理的に行動し、法に従う上で

率直に
話す

インサイダー取引規制法

証券取引法およびファイザーのポリシーは、ファイザー社外の人物に重要な非公開情報（MNPI）を開示すること（ファイザーのポリシーに従う場合は、この限りではありません）、または、私たちがファイザーでの雇用期間中に得る何らかの重要な非公開情報または「内部」情報を知っている場合に、ファイザーの証券を取引することを禁じています。

さらに、重要な非公開情報を持っている場合、ファイザーと関係のある、または関係を検討中の会社（顧客、サプライヤー、研究パートナー、合併や提携の候補など）の証券を売買することも禁じています。情報は、公に広く周知され、一般の人々がその情報を入手するために少なくとも1取引日が経過するまでは、非

公開であるとみなされます。また、証券を売買できるよう、内部情報を他の誰かに提供することも禁じられています。

私は、共同プロモーション・パートナー企業と仕事をしていますが、その企業が科学的な大発見の最終段階にあることを知りました。この企業の株式を購入することはできますか？

重要情報とは、合理的な投資家が証券の売買や保有の決定において重要とみなす情報を指します。

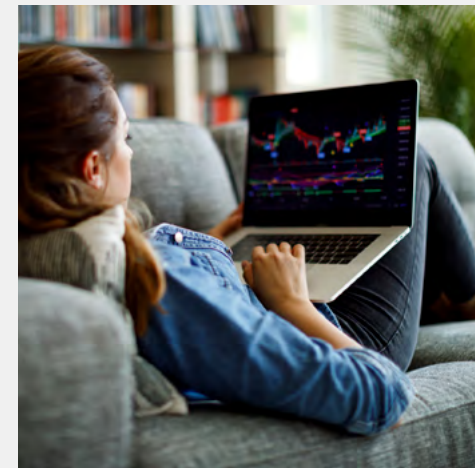
また、ファイザー株の派生商品またはファイザー証券に関連するヘッジ取引（空売り、プット、コール、ストラドル、またはエクイティスワップなど）も禁止されているため、注意してください。

いいえ。あなたとあなたの同一世帯者または被扶養者は、その情報が一般に公開されてから最初の営業日となるまで、その株式を購入できません。また、その情報を利用して取引が行えるよう、誰かにその情報を提供することもできません。

国際貿易管理法

私たちは皆、特定の製品、物品、ソフトウェア、テクノロジーの輸送や、サードパーティの関与とそのサービスの履行を統制する、輸出入管理および経済制裁措置に関する法律を遵守する責任を負っています。国際貿易管理法において、特定のマーケット、事業体、または個人に対するファイザーの販売、投資、取引、研究・調査、寄附およびビジネス活動が制限される場合があります。

国際貿易管理法に関する質問や懸念事項はすべて、ファイザーのGlobal Trade Control Center of Excellence（国際貿易管理法対応グループ/GTC CoE）が対応します。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー604A（インサイダー取引の禁止）
- コーポレート・ポリシー604B（重要な非公開情報の取り扱いと開示 - 公正開示規制）
- コーポレート・ポリシー605（ファイザー株の派生商品の取引）
- コーポレート・ポリシー401（機密情報の保護）
- コーポレート・ポリシー206（国際貿易管理法の遵守）
- Global Trade Controls Center of Excellence（国際貿易管理法対応グループ/GTC CoE）



信頼こそがすべて

カレッジ（勇気）

エクセレンス（卓越）

責任あるビジネス慣行に取り組む

人権を尊重する

安全衛生を優先し、環境を保護する

自分たちの働くコミュニティを
サポートする

ダイバーシティ、エクイティ&
インクルージョンを尊重する

差別、ハラスメント、
報復を許さない



ファイザーは、公平性、協調性、チームワーク、そして信頼の構築に尽力しています。敵意やハラスメント、報復行為は、一切許容されません。ファイザーのグローバル・ポリシーは、あらゆる不適切な行為を禁止し、私たちのコアバリューであるカレッジ（勇気）、エクセレンス（卓越）、エクイティ（公平）、そしてジョイ（喜び）に基づく倫理的な意思決定を通じて、会社の目的を達成し、私たちが生活し働くコミュニティをサポートするというコミットメントに沿った、前向きで生産的な環境を促進する職場作りを目的としています。

ファイザーのバリューを推進する私たちのコミットメントは、職場だけにとどまらず、私たちが働くコミュニティや、私たちが支える患者さんにも波及します。ファイザーは、持続可能な倫理的な方法で事業を行います。私たちは、環境・社会・ガバナンス（ESG）の問題の重要性を認識しています。そして、人権を尊重し、気候変動に責任を持って取り組み、環境への影響を削減し、医療の格差を縮小し、私たちの事業運営およびサプライチェーンにおける健康、安全性、多様性、包摂性、公平性、協調性、信頼性を最優先に取り組んでいます。

責任あるビジネス慣行に取り組む

ファイザーは、その目的を推進するだけでなく、良き企業市民であることにも努めています。私たちは、世界をより良い場所にするために行動する義務を真摯に受け止めています。革新的なワクチンや医薬品を発見、製造、提供することは、私たちの社会貢献のほんの一部にすぎません。

ESGにおける優先分野

- 製品イノベーション
- 気候変動
- 公平なアクセスと価格設定
- 製品の品質と安全性
- ダイバーシティ、エクイティおよびインクルージョン
- ビジネス倫理

ESGレポートおよびESG関連の

社外コミュニケーションは、コミュニティと関わる貴重な機会です。しかし同時に、そうした関与がファイザーの企業ESG戦略に合致しない場合は、ファイザーにとってリスクとなります。ESG関連のトピックに関する情報を作成したり発信したりする場合は、事前にESGオフィス（ESG.Office@pfizer.com）に連絡してください。

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）へのコミットメント

- ESGに関するファイザーのガバナンスは、取締役会による監督、リーダーシップによるコミットメントと説明責任、そして会社全体を通じた社員の関与という原則のもと構築されています。また、社内外のステークホルダーの多様な視点を、責任ある事業戦略と優先事項に反映しています。
- ファイザーはすべての社員に対し、会社の優先事項を理解し、日々の活動において持続可能で責任ある方法で事業を推進することにより、責任ある業績目標の達成に貢献することを奨励しています。



さらなる詳細情報

- Pfizer.comに関する情報
- ファイザーのインパクトレポート

率直に
話す

会社の目的を推進するために科学とグローバルなリソースを活用しているファイザーでは、信頼こそがすべてです。私たちはすべての活動においてインテグリティを持って行動し、ファイザーのバリューのもと、倫理的で思慮深く、責任ある正しい意思決定を行うことで、私たちの事業活動が患者さんと社会のニーズに的確に答えるものとなるよう努めています。当社のリーダーは、力強いインテグリティの企業文化の基調を示し、報復を恐れることなく懸念を提起して率直に話す（スピークアップする）ことを社員に奨励しています。ファイザーのサプライチェーンの全メンバーは、ファイザーのサプライヤー行動意見報告書やサプライヤー行動原則に記されているとおり、人権を尊重し、責任ある倫理的方法で事業を行うことを求められています。

私たちはバイオ医薬品企業として、健康に対する権利を最も重視しています。その他の重要な人権としては、非差別の原則、プライバシーの権利、奴隷制や強制労働からの自由、公正で有利な労働条件を享受する権利、安全な職場で働く権利、清潔で健康的かつ持続可能な環境を得る権利があります。


人権を尊重する

ファイザーは、国際的に認識されている人権の尊重を含め、倫理的かつ責任ある方法で事業を行います。その取り組みを進める中で、私たちはグローバルな事業運営における人権への悪影響を防止、軽減すること、そして、私たちが意図せずに起こしたり連鎖させたりしてしまうかもしれないあらゆる人権への悪影響を是正することを模索しています。また可能な限り、人権の向上にも力を尽くします。私たちの人権リスクへの取り組みは、国際基準、業界のベストプラクティス、さらには専門家による評価をもとに策定されています。

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）へのコミットメント

- 研究所から患者さんまで、そして数多のローカルサプライヤーからなる多様なグローバルサプライチェーンを含め、ファイザーは自社の事業運営すべてにおいて人権を尊重する責任があります。
- 国連の提唱するビジネスと人権に関する指導原則に則り、ファイザーの人権方針文書は、患者さん、社員、ビジネスパートナーの従業員、そして私たちが事業活動を行うコミュニティの人々に最も深刻な影響を及ぼしうるリスクに対処することを強調しています。

人権は、人種や性別、国籍、民族、 言語、宗教、その他の立場に関わらず、すべての人に与えられる基本的な権利と自由です。これらの権利は、国際人権章典およびその他の国際条約や文書に記されています。



さらなる詳細情報

- 人権方針文書
- 人権に関するFAQ
- 強制労働、児童労働、人権、および適正な労働条件に関する規制に関する開示

率直に
話す

安全衛生を優先し、環境を保護する

ファイザーをとりまく環境と、社員やコントラクトリソース、ファイザーを訪れる人々、そして私たちが事業を行うコミュニティの健康と安全を守ることは、私たちの事業運営における優先事項であり、ファイザーのバリューであるエクセレンス（卓越）とエクイティ（公平）のコアでもあります。私たちは、地球環境の健全性に関する課題と未来の世代への資源確保に対する取り組みとして、気候変動対策と持続可能性を自社医薬品のライフサイクルに組み込むよう努めています。



エクイティ（公平）とジョイ（喜び）

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）へのコミットメント

- 環境保護と安全衛生（EHS）に関する法令および社内基準に準拠する、安全で違反のない、持続可能な事業運営を行います。
- リスクを軽減し、自分たちのEHSに関する取り組みを向上させる有意義な機会を積極的に模索し、実行します。
- 安全に配慮し、環境に責任を持った事業運営をする能力があるかを考慮してビジネスパートナーを選びます。
- 安全かつ適法で、環境に責任を持った方法で業務を遂行できるよう、社員に対して教育や研修を実施し、モチベーションを高めています。

私たちはファイザーのインテグリティへの評価に誇りを持ち、喜びを感じています。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー113（環境保護と安全衛生ポリシー）
- 環境安全衛生に関する国際基準

自分たちの働くコミュニティをサポートする

率直に
話す

私たちは、事業を行っているコミュニティの活動に積極的に参加し、コミュニティ向上のために尽力します。よりよい健康は、人や場所を問わず実現できるものであると私たちは信じています。ファイザーは、責任ある事業活動と、医薬品やワクチン、良質な医療へのアクセス性を向上し、医療格差を縮小するための、持続可能な社会的投資を通じて、人々のウェルビーイングを高めることを目指しています。パートナーや患者さんと協力して事業を行うことで、ファイザーの専門知識とリソース（資本、製品、人材）を活用し、長期的な社会的影響力を創り出せるようになります。

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）へのコミットメント

- ファイザーの中核にあるのは人であり、社員による貢献活動は職場内で完結するものではないと私たちは考えます。
- 私たちの研究、医薬品、ワクチン、基金そして社員の専門知識を活用することで、人々の生活に有意義な変化をもたらします。
- 私たちが事業を行う国内外のコミュニティにおいて良質な医療によりアクセスしやすくするために、私たちは組織や政府、基金とのパートナーシップを通じて医療格差の問題に取り組み、関係を構築して架け橋となり、障壁を取り除きます。
- 非営利団体や国際的な開発機関のニーズと社員の専門知識を掛け合わせることで、差し迫った健康上の課題が解決されるよう支援し、医療を必要としている人たちにブレークスルーをもたらします。
- 私たちが生活し働く場所で一致団結することで、コミュニティにパワーと強さを見出し、経済的支援や時間、専門性において貢献します。



さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー801（グローバル寄附金ポリシー）
- グローバル・ヘルスへの取り組み
- Give Forward



ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを尊重する

率直に
話す

ファイザーにおいて、エクイティ（公平）とは、人は誰もが目を向けられ、耳を傾けられ、大切にされることを意味します。これは、私たちがインクルージョンを常とし、インテグリティを持って行動し、医療の格差を縮小させることで実現します。

私たちはお互いの違いを喜んで称え、職場やビジネス全体がさらに多様になるよう行動を起こします。また私たちは、多様性に富む社員を雇用し、様々なサプライヤーと関わり、調査や臨床研究において多様な人々を対象とすることで、自分たちの職場やビジネスモデルに患者さんのダイバーシティが反映されるように努めています。



そして、求職者と社員すべてに平等な雇用機会を提供し、平等に扱うことを会社の方針として掲げています。これには、人種、肌の色、民族、信条、家柄、宗教、性別、性的指向、年齢、性自認や性表現、出身国、配偶者の有無、妊娠、出産や出産に関連する症状、遺伝情報、軍歴、従軍経験、健康状態（適用法の定義に基づく）、精神的または身体的障がいの有無、適用法で保護されているその他の特徴をはじめとする個人の特性は問われません。ファイザーは、努力、才能、貢献が成功に寄与し、機会を阻む障壁のない、実力に基づく企業文化を守り続けます。私たちは行動と結果に責任を持ち、透明性を保たなければなりません。なぜなら、私たち全員がダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（DE&I）を促進する役割を担っているからです。

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）

エクイティ（公平）とジョイ（喜び）へのコミットメント

- マネジャーに対し、均等な雇用基準を推進し、ファイザーの機会均等ポリシーに反する可能性がある場合には報告することを求めます。
- 様々な背景や民族性、その他の独自の特徴を持つ人々に豊富な雇用機会を提供する外部組織と提携することで、広い範囲で人材を探し求めます。
- 独自の特性や視点、人生経験が、私たちが個人たらしめていることを称えます。ファイザーは、社員のために安全な環境を創出し、その成長をサポートする力を持つと同時に、その責任を負っています。

- すべての潜在的な適格ベンダーに公平にリーチできるよう徹底するための、堅牢なサプライヤープログラムも維持しています。
- 臨床試験では様々な人種、民族、年齢、性別の人々を対象とし、統計の下位集団データのレポートおよび分析における網羅性と質の向上に努めています。

さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー702（オープンドアポリシー）
- コーポレート・ポリシー703（機会均等ポリシー）
- コーポレート・ポリシー103（ファイザー・サプライヤー・ダイバーシティ・イニシアチブ）



差別、ハラスメント、報復を許さない

率直に
話す

私たちは、適用される法令で定義される、いじめや嫌がらせなどの差別やハラスメント、報復のない職場環境を重視し、推進しています。職場で行われるすべての決定に、適用法で保護される個人の特性は問われません。

ファイザーのマネジャーは、ハラスメントや差別、報復、いじめのない職場環境を維持し、そのような行為を認識した場合には報告しなくてはなりません。

エクイティ（公平）

エクイティ（公平）へのコミットメント

- 保護される個人の特性に対する中傷や敵意の表明となる、不快なコメントや行為、行動などのハラスメントのない職場環境を推進します。
- 脅迫的、敵対的、攻撃的な職場環境や、個人の業務遂行能力に対する不合理な妨害が生み出される行為を禁じます。



ファイザーは、毎日最善の仕事ができる安全で安心な職場を提供するよう努めています。「職場での暴力に関するポリシー」と「職場での暴力の防止および介入（WVPI）」プログラムを導入し、懸念される行動を前もって検出して評価、調査し、脅威を軽減することで、すべてのマネジャー、社員、コントラクトリソースをサポートしています。

職場での暴力に対処できるよう、私たち全員が積極的に役割を担い、すべての人にとって安全・安心な職場を実現できるよう自分の役割を果たすことが極めて重要です。

WPVIプログラムの中核をなす垂直要素、すなわち人材、研修、報告、情報共有により、次のことが実現します。

- すべての人にとって安全な職場
- 行動の早期発見 - 率直に話す勇気を持つ
- 困っている人への迅速な支援
- 繰り返される職場での暴力を「知り、点と点を結ぶ」能力

インテグリティを持って行動することが、エクイティ（公平）を支えます。

さらなる詳細情報

- コーポレート・ポリシー703（機会均等ポリシー）
- コーポレート・ポリシー117（職場での暴力に関するポリシー）
- 差別・ハラスメント・報復の防止ポリシー（US/PR）
- コーポレート・ポリシー702（オープンドアポリシー）
- コーポレート・ポリシー201（インテグリティ、コンプライアンス報告、報復禁止ポリシー）
- コンプライアンスに関する懸念の報告
- オンブズ・オフィス



患者さんの生活を大きく変える
ブレイクスルーを生み出す